適用範囲		型式		PC450LC-11 28M
仕様		最大高さ	mm	27,895
		ブーム及びアーム収納		3折れ
ブーム及びアーム		基本ブーム	m	6.29
		第二ブーム	m	9.22
		第三ブーム	m	2.20
		第一アーム	m	8.37
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
安全装置	作業範囲規制装置	警報装置の仕様		警報型
		警報鳴作業半径	mm	17,000
		警報鳴作業半径(縦向)	mm	17,000
	ブーム降下防止装置	ブームシリンダ		図4-26.2参照
		伸縮量	mm	3.0
		測定時間	分	5

1．シリンダー伸縮量の測定

（1）測定条件

①水平堅固な平坦地で測定すること。

②シリンダー交換直後は、シリンダー内のエア抜き後に実施すること。

③エンジン停止状態で実施すること。

④作動油の温度は 45℃～55℃で測定すること。

⑤測定姿勢にセッティングして 1～2 分経過後に測定を開始すること。

（2）測定姿勢

①アタッチメント装着無し

②測定姿勢は 2 折れ、3 折れの参考図の通りとする。

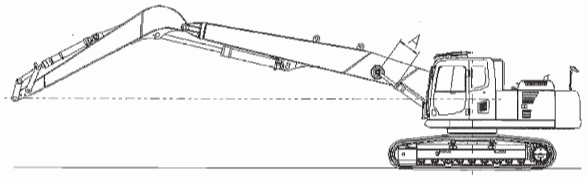

図 4-26.1　2 折れロングタイプ測定姿勢

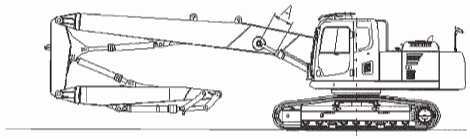

図 4-26.2　3 折れロングタイプ測定姿勢

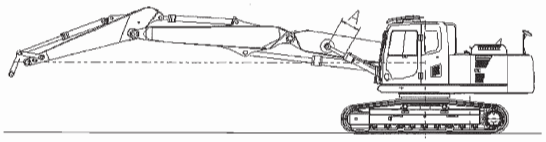

図 4.26.3　3 折れ 2 ピースブームタイプ測定姿勢

（3）測定

①測定開始 5 分間経過後の伸縮量を測定すること。

②ブームシリンダーの測定位置Ａを測定する。

2．作業範囲制限装置の確認

①PC350LC－8　2PB

ブーム及びアームの角度に関わらず、アーム先端がベースマシンの旋回中心から 11mの位置に動かしたとき作業範囲規制装置の警報音を確認する。（下部走行体は図の通り前後方向で確認すること）

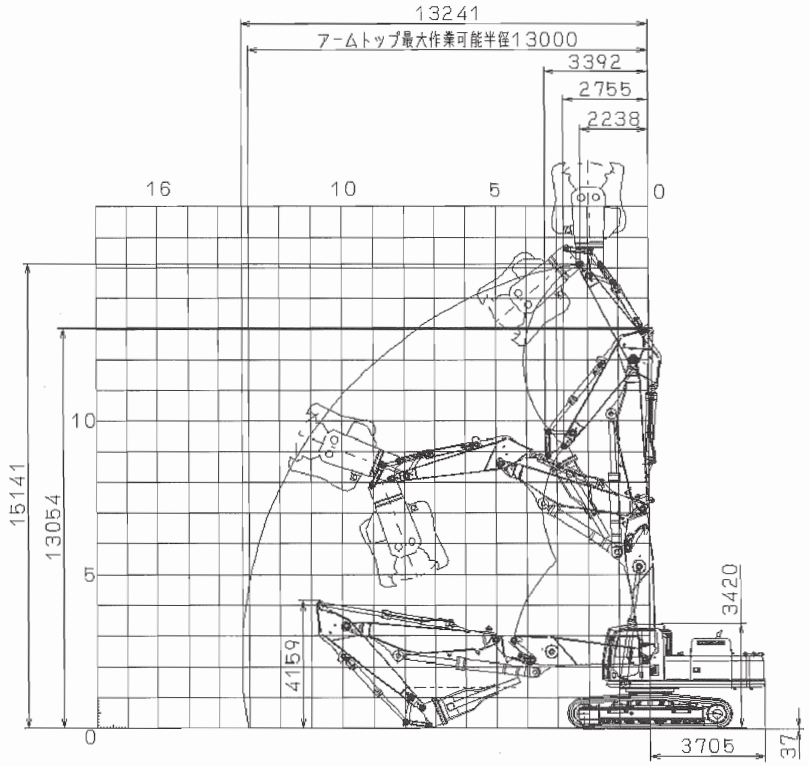

図 4-27.1　PC350LC－8　2PB 作業範囲装置の確認

②PC350LC－8　20M

ブーム及びアームの角度に関わらず、アーム先端がベースマシンの旋回中心から 11mの位置に動かしたとき作業範囲規制装置の警報音を確認する。（下部走行体は図の通り前後方向で確認すること）

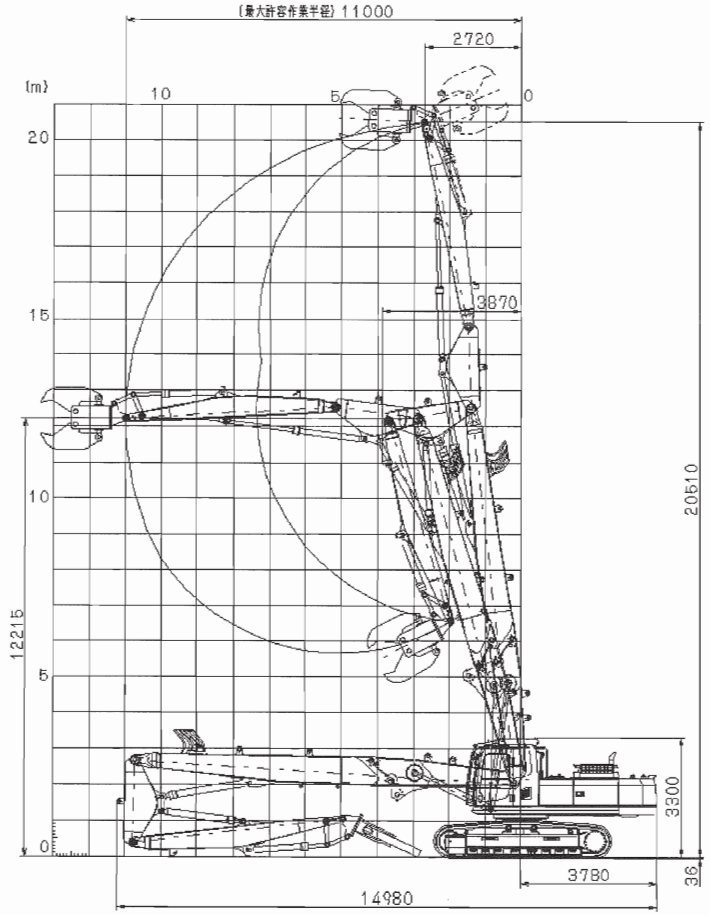

図 4-27.2　PC350LC－8　20M 作業範囲装置の確認

③PC450LC－8　2PB

ブーム及びアームの角度に関わらず、アーム先端がベースマシンの旋回中心から 13mの位置に動かしたとき作業範囲規制装置の警報音を確認する。（下部走行体は図の通り前後方向で確認すること）

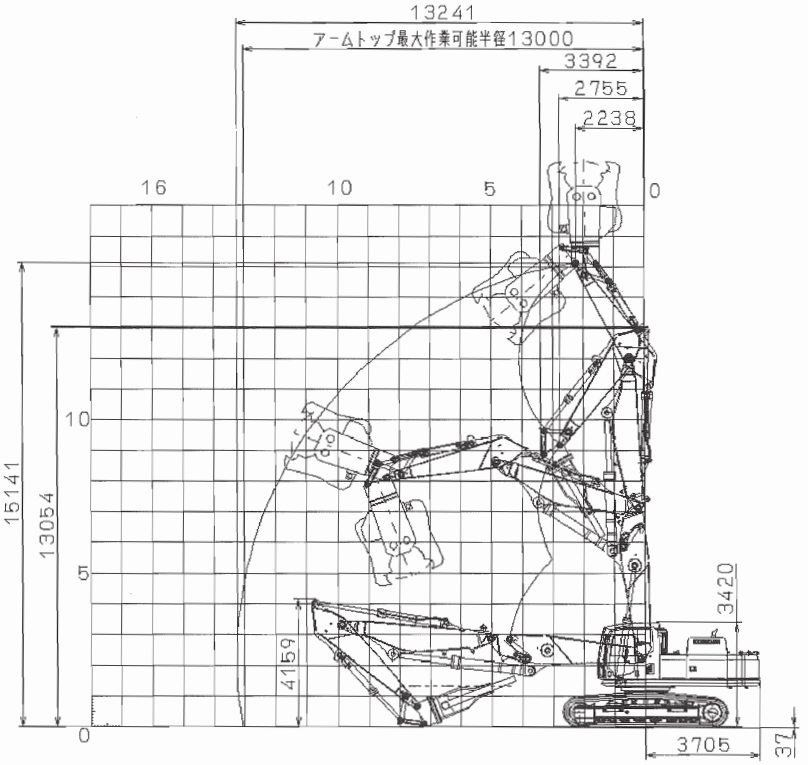

図 4-27.3　PC450LC－8　2PB 作業範囲装置の確認

④PC450LC－8　24M

ブーム及びアームの角度に関わらず、アーム先端がベースマシンの旋回中心から 13mの位置に動かしたとき作業範囲規制装置の警報音を確認する。（下部走行体は図の通り前後方向で確認すること）

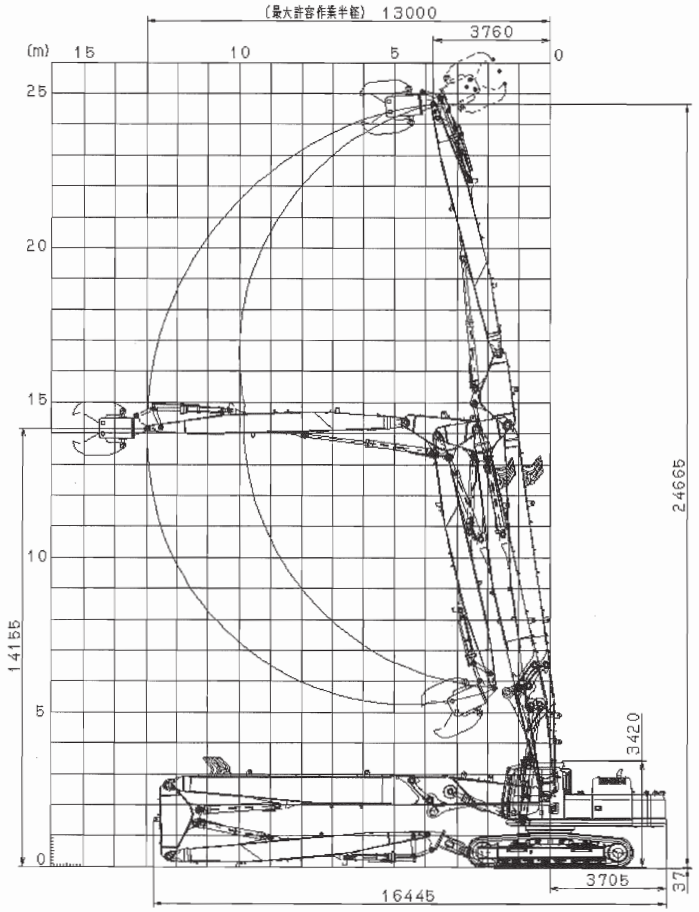

図 4-27.4　PC450LC－8　24M 作業範囲装置の確認